

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

ポレスター段原プレミアム

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
<b>■ 1. 「地球温暖化対策」の推進</b>						
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.08	Q1	室内環境	2	温熱環境
品確法の等級4の省エネ基準、窓部は複層ガラスとカーテンを標準設置。	5.0	0.43				
	5.0	0.49				
小計	4.8	0.36				
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LRI	エネルギー	2	自然エネルギー利用
	3.0	0.50	LRI	エネルギー	2	自然エネルギー利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.0	0.09				
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	5.0	1.00	LRI	エネルギー	3	設備システムの高効率化
燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器の採用						
小計	5.0	0.18				
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	0.0	0.00				
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.0	0.08	LRI	資源・マテリアル	1	水資源保護
節水型便器や節湯水栓の採用。造作材に集成材を使用。	3.0	0.12	LRI	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.00	LRI	資源・マテリアル	1	水資源保護
	2.0	0.06	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LRI	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.0	0.26				
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	1.00	LRI	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	5.0	0.11				
<b>1. 「地球温暖化対策」の推進の評価</b>						
	4.2	0.72				
<b>■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進</b>						
<b>2.1 温熱環境の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	2.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	2.0	0.27	LRI	敷地外環境	2	地域環境への配慮
小計	1.5	0.96				
<b>2.2 交通負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LRI	敷地外環境	2	地域環境への配慮
駐車場・駐輪場の整備					2.3	地域インフラへの負荷抑制
小計	3.0	0.04				
<b>2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>						
	1.6	0.15				
<b>■ 3. 「長寿命化対策」の推進</b>						
<b>3.1 耐用性の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
磁器タイル:40年 衛生:B 消火:C	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	小計	3.5	0.47			
<b>3.2 設備の更新性</b>						
(コメント) ※設計の計画と特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.53				
<b>3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>						
	3.2	0.13				
<b>■ 重点項目の総平均(上記3項目)</b>						
	3.7					